

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	太田保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 28 年 10 月 28 日

総 評	<p>太田保育園は昭和55年、亀岡市の中心部より西に位置する農村地域に開園しました。設置主体である愛嶺福社会という法人名は、「博愛・人類愛」の象徴として、「広々とした景色と共に子どもたちが生き生きと育つように」との理念を表しています。</p> <p>以来、「暖かな家庭的雰囲気の中で 自然に親しみ丈夫な身体と 豊かな心を持った 明るい子どもを育てる」という基本方針のもと、「愛情 親切 誠意」を信条に、一人一人の子どもを大切に保育することを実践の中心に据えてきました。</p> <p>例えば、個人別指導計画や発達記録は、実践を行う保育者とその指導に当たる管理者との日常的なやり取りを通じて丁寧に記録されており、保育の質と職員の資質の向上を結ぶ、太田保育園の根本を成しています。</p> <p>さらに管理者は、職員間の人間関係においても保育の理念を念頭にチーム・ワークの醸成に努めています。</p> <p>また、外部講師を招いての園内研修、公開保育等の取り組みを通じて、子どもたちのより良い保育の方途について探るとともに、園の方針に取り入れながら、日々の保育実践が適切に行われるよう努めています。</p> <p>地域の保育ニーズへの対応としては、地域の未就園児を対象とした、子育て支援センター事業の活動にも取り組んでいます。</p> <p>子どもを真ん中にした保護者・職員との良好な人間関係と広々とした園の環境、恵まれた地域の環境を活かし、さらなる充実・発展を図られることを期待します。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者と保育士等の連携による一人一人の子どもへの丁寧な見守りと記録。 ・ 園の保育理念に沿った保育課程が編成され、それに基づいて指導計画を作成しています。月案の評価・反省を毎月実施しており、翌月の指導計画にその内容を反映させています。 ・ 管理者は職員との毎月個別面談を実施しており、常に意向等をくみ上げられるような機会を設けています。 ・ 未就園児を対象とした子育て支援センター事業として、子育て相談、園庭開放、子育て講座、食育教室などの実施や、高齢者施設との交流など、地域の子育て家庭や在園児の親子に対しての様々な支援活動を行っています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育課程を掲示するなど保護者にも周知されるよう工夫されるとより良いでしょう。 ・ クラス懇談会を年長児以外でも実施し、園の保育内容を保護者と共有できるよう取り組まれるとより良いでしょう。 ・ 優れた実践について保育の標準的な実施方法や保育マニュアル等に整理するとともに、広く発信されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	太田保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	2016年10月28日（金）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

[自由記述欄]

・園の理念として、保育方針・信条が明文化され、保護者には入園時や行事などの機会を通じて周知すると共に「園のしおり」や園内に掲示し、啓発に努めています。職員には毎月の職員会議で月案を作成する際に、管理者によって理念に沿った内容かどうか確認しています。

・園の保育理念に沿った保育課程が編成され、それに基づいて指導計画を作成しています。月案の評価・反省を毎月実施しており、翌月の指導計画にその内容を反映させています。週日案について評価・反省を行い、日々の保育が園の方針に沿った内容となるよう取り組んでいます。保護者に対しても、年度始めや行事などの度に園の保育理念を伝え、周知に努めています。今後は、保育課程を掲示するなど保護者にも周知されるよう工夫されるとより良いでしょう。

・管理者は、月1回の全体職員会議、乳幼児会議、主任会議に出席し、方針に沿った保育が実践されるよう取り組んでいます。また、年度末会議を開催し、半日をかけて年間の総括を行い、一年間の保育実践を管理者と共に振り返るようにしています。それらの内容は議事録があり、全ての職員が閲覧できるようにしています。

・管理者は、職員と共に園内外の研修を開催したり、参加したりするなどし「太田保育研究所」と銘打って、保育の質が向上するよう取り組んでいます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。		B	B	
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	B	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	C	A

【自由記述欄】

・保護者の子どもを預けたいという気持ちに対して、出来る限り対応することを大事に運営を行っています。広範囲の利用者のためにバスによる送迎なども行い、利用者の視点に立った運営を心がけています。管理者は職員との毎月個別面談を実施しており、常に意向等をくみ上げられるような機会を設けています。

・定期的に専門講師による園内研修を行い、日ごろの保育実践の評価・反省を行い、改善に努めています。また、短期指導計画や発達記録等については、管理者による細やかな指導を心がけており、記述に関する基本から表現などについてもより良くなるよう取り組んでいます。今後は、それらの内容を踏まえ、たうで、個別の研修計画を充実させるとより良いでしょう。

・実習生の受け入れを毎年実施し、養成校の実習簿をもとに計画を立てています。近隣中高生の体験学習も受け入れています。今後は、園独自の実習生受け入れマニュアルやボランティア受け入れマニュアルを整備し、意義や方針、計画案などの基本となるものを充実させるとより良いでしょう。

・未就園児を対象とした子育て支援センター事業として、子育て相談、園庭開放、子育て講座、食育教室などの実施や、高齢者施設との交流など、地域の子育て家庭や在園児の親子に対しての様々な支援活動を行っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A B	A B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	B
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	B	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	B	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

・個人情報保護に関する規程について研修を実施しています。今後は、今ある内容をマニュアルとして整理し、職員がいつでも確認出来るようにすると良いでしょう。

・苦情解決の責任者や第三者委員など受付に関する内容を保護者に知らせています。今後は、保護者からの要望等についての対応方法を記録し次に活かせるような様式を作成するなど、職員間で共有できるよう整備されると良いでしょう。

・第三者評価を定期的に受診し、管理者だけでなく職員参画のもと取り組んでいます。今後は、結果を踏まえ、今ある仕組みを整理・改善するきっかけとして評価を利用されるとより良いでしょう。

・子どもの身体状況や、生活状況等を定められた書式により、記録・管理しています。管理規程・文書規程が定められ、適切に管理されています。また、月1回開催の全体職員会議、保育士会議、主任会議や、年度末と年始に全体職員会議を実施し、それらの中でケース会議を行っており、必要な情報が職員間で共有されるよう努めています。また、その内容は、丁寧な文字で記録されており、欠席職員も閲覧しやすいよう配慮しています。

・入園希望者に対し随時見学を受け付けており、園の内容説明と共に案内しています。今後は、ホームページの開設や、園パンフの作成など、入園希望者に対し必要な情報の提供に取り組まれるとより良いでしょう。転園の際は、文書による引き継ぎを実施しています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	B	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

・年2回の内科健診、年1回の歯科健診、眼科健診も実施しています。その内容は、文書で保護者に通知すると共に、職員間でも共有し保育に有効に反映されるよう努めています。また、感染症発生時対応マニュアルを整備し、発生時には保護者へも発信し、感染予防に努めています。

・園に隣接する専用の畑で野菜を育てており、栽培から収穫までを体験しています。その食材を活かしてクッキング保育を行っており、食材など食への関心が高まるよう工夫しています。また、給食参観や保護者向け料理教室を開催し、保護者からもアンケートをとるなど、食育について保護者と共通理解が持てるよう取り組んでいます。

・園内には、季節の花や、園児の造形物を飾ったり、園庭には色々な木を植えるなど、心地よく過ごせるよう配慮しています。また、定期的に遊具・設備点検を実施し、安全な環境になるよう取り組んでいます。

・保育内容は、園内研修の充実を図り、専門講師による継続的な学びをベースに、子ども一人ひとりを大事にした保育を展開しています。各保育室には押入れのような空間や、コーナー遊びのスペースを整備し、発育に応じた手作りのおもちゃや、ブロック、カード、粘土、楽器など、思い思いの遊びが展開できるようにしています。また、スイミングスクールに月2回通ったり、幼児組は近隣の山を登るなど様々な体験が出来るよう配慮しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	C	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

・個別面談の内容は記録されており、正確に伝わるよう取り組んでいます。保育参観は、参加型で実施し、毎月ある行事に自由に参加してもらっており、ほとんどの保護者が参加しています。クラス懇談は年長児のみ実施しています。今後は、クラス懇談会を年長児以外でも実施し、園の保育内容を保護者と共有できるよう取り組まれるとより良いでしょう。

・子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容に活かされています。発達記録の内容は、毎月、管理者によって評価・反省が行われ、保育の内容に活かされるよう取り組んでいます。

・一時預かり保育は、実施していません。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

・遊具の安全点検チェックを行っています。今後は、ヒヤリハットなどで収集した事例を活かし、事故防止などについて検討されるとより良いでしょう。

・消防計画等に則り、毎月災害時の避難訓練を実施しています。今後は、研修等で周知している事故や災害発生時の対応内容を明文化するなど、常に確認できるよう工夫されるとより良いでしょう。